



Newsletter

No. 56

2014年2月10日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

継続は力なり！ 開花したレイバーネットの活動

レイバーネット日本は、2001年に「はたらくもの情報ネットワーク」として発足し、インターネットを軸に13年間活動をしてきた。活動分野も広がり現会員数は540人になった。昨年12月にはその成果がさまざまな形であらわれた。ひとつはレイバーネットTVが、「市民が選ぶ日本のピューリッツァー賞」である「平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞」を受賞したことである。労働問題をはじめ政治・経済・外交・教育など、幅広いテーマを取りあげ、既存のテレビ局ではできない視点が評価された。レイバーネットTVは

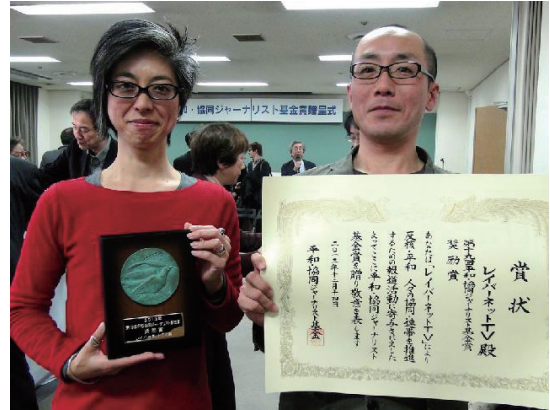


スタートして3年半経ったが、今回の受賞は、大いに励みになるものだった。

また、川柳班は念願の2つめの句集『原発川柳句集』を12月21日のレイバーフェスタの日に発表した。3.11以降の時代に記録にもなっていて大変好評だ。アマゾンのレビューでも「川柳界にひさびさの快挙」とのコメントが載った。いまじわじわ全国に広がっている。発行は2000部。ぜひまわりに広げてください。



映画では、レイバー映画祭がきっかけで生まれた『原発の町を追われて』(本編・続編)が全国各地に自主上映で広がり、フクシマの生の声を伝えてきた。その制作者である堀切さとみさんが、女性人



権活動に与えられる「やよりジャーナリスト賞期待賞」を12月に受賞した。

壺花花さんは12月に初めて本を出した。2007年第一次安倍政権発足に危機感をもって風刺漫画を描き始めた壺花花さん。主な発表の場はレイバーネットだったが、この一連の仕事にレイバーネットの杭迫隆太さん、織田忍さんが文章部分を担当し、一冊の本『でじゃぶーな人たち 風刺漫画2006-2013』(三一書房)に仕上がった。

ほかにも東海林智著『15歳からの労働組合入門』はじめ、出版・映画・音楽などの文化部門や労働運動・社会運動の分野でレイバーネットの会員の皆さんが活躍している。

レイバーネット日本の活動は、そもそも個人のネットワークの「場」だ。そこのつながりの中から、「レイバーネットTV」や「川柳班」も生まれた。これからも、はたらく人々・たたかう人々の出会いや協働の「場」として、さまざまなものが生まれてくればと思う。2014年は、安倍政権がいよいよアクセルを踏み込んだ。はたらくものの権利が奪われ、憲法が壊され、「戦争できる国」にしているのか。私たちが知恵と力をあわせて、精一杯抵抗していきたい。(松原明・レイバーネット日本共同代表)

<レイバーネット日本 2014 総会>

以下のように年1回の総会を開催します。ぜひお仲間を誘ってご参加ください。

●とき：3月8日(土) 13.00 開場

第一部 総会 13.30～15.00

第二部 特別イベント 15.15～17.00

講談「田中正造伝～石川啄木と幸徳秋水の巻」

(甲斐織淳)

～100年前の「戦争に向かう時代」が
我々に教えるもの～

●場所：スペースたんぼぽ

(東京・水道橋7分 TEL03-3238-9035)

〒101-0061 東京都千代田区三崎町

2-6-2 ダイナミックビル5F

TEL: 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797

●会員無料(一般500円)

レイバーネットの二大イベント日程決定!

●レイバー映画祭2014 7月26日(土)

●レイバーフェスタ2014 12月20日(土)

ともに田町交通ビル6Fホール

レイバーフェスタ 2013 の報告

ドキュメンタリーに川柳も！ 年末恒例レイバーフェスタ

岩本 太郎

3週間も間が空くと、どんだけロクでもないこと(辺野古や靖国参拝、「エネルギー基本計画」等々)が出てくるものかと痛感させられた2013年末だったが、ともあれ、その掉尾を飾る年末恒例の「レイバーフェスタ」が12月21日に東京で開催された。

「崖っぷちニッポン いま文化の力を！」と題された今回は、午前10時半の開演と同時に客席はほぼ満席。何しろ話題のドキュメンタリー『標的の村』(三上智恵監督)が冒頭から上映されたのだ。終映後の客席にはすすり泣きの声が聞かれたほか「感極まって泣きそうになった」という司会の松元千枝さんが、作品に登場する沖縄県東村高江の伊佐真次さん(ヘリコプター着陸帯の強行建設に反対する「被害者」なのに、国側から逆に「工事を妨害した」としてSLAPP訴訟被告にされた)にインタビュー。「せめてそこだけはアメリカを真似て反SLAPP法が制定できないか(笑)。東京から遠いけど、観光気分でもいいから高江まで来て実態を見てください」と屈託なく語る姿が印象的だった。

午後からは『原発川柳句集』完成披露企画～私的一句紹介「レイバーソングをつくろう・歌おう」「写真+詩『原発案内』」と恒例企画「3分ビデオ一挙公開」。映像中心のレイバーフェスタでなぜ川柳と思われるかもしれないが、これが力作・名作揃い。講評にあたった文芸評論家で早稲田大学非常勤講師の棚沢健さんの「どんどん息苦しい時代になっていくほど、笑いを込めた川柳が生き活きとしてくる。これは歴史的にも繰り返されてきたこと」との訴えには胸を打たれた。

今回の「3分ビデオ」は17作品中、スマートフォンで撮った作品が2本。うち1本は、私が在特会の桜井会長らに突撃取材して罵声を浴びる場面をユーストリームで生中継後にライブラリーに残っていた映像を主催者の松原明さんにメールでお願いするという乱暴な方法を使った(すみません)。それでも上映してもらえるのだから、一般の人が映像表現を発信していく上でのバーは確実に下がってきたことを実感した次第だ。

今回の参加者は約220人。終了後の交流会にも約60人が押しかける大盛況だった。その数日後の靖国だ辺野古だはともかく「年の瀬にこういう催しが続く限り日本も満更じゃねーぞ」と思わせてくれる、それがレイバーフェスタだ。

(いわもとたろう)

ブログ <http://air.ap.teacup.com/taroimo/>

*以上は「週刊金曜日」2014年1月10日号に掲載されたものです。



<総会案内>

講談「田中正造伝～石川啄木と幸徳秋水の巻」

日本最初の大規模公害、足尾鉍毒事件で、被害者農民の救済と鉍業停止を求めて闘い抜いた田中正造。田中が天皇直訴のとき、田中のメモを基に「天皇直訴状」起草執筆したのが幸徳秋水だ。戦争に反対した幸徳は、日本近代史上、空前の権力犯罪「大逆事件」で、でっち上げにより死刑を執行された。幸徳の著書を読み、社会主義に目覚めた石川啄木は、彼の無実を証明しようと懸命に生き抜いた。三人は公害と闘い、戦争と闘った。

いまの日本では、福島原発事故により汚染された毒水が海に流れ込み、地球規模の公害となっている。

「秘密保護法」に象徴されるように「軍国主義」が露骨に鎌首をもちあげてきた。「大公害」と「軍国主義」という共通の課題を抱えた、百年前の人々と私たち。時間と空間を超えて甲斐織淳(かいおりじゅん)の講談が問いかける。



レイバーネットTV・2014年前期放送案内

配信用ホームページをリニューアル

昨年12月に「平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞」を受賞したのを機に、レイバーネットTVは配信用ホームページをリニューアルし、開設して4年目を迎える今年もホットな最新情報をお伝えします。

2月から始まる放送では、12日に派遣法改正の問題点について、労働記者の東海林智さんと板倉由実弁護士に解説してもらいます。27日は、就任したばかりの靱井新会長がさっそく問題発言をして、報道機関としての資質が問われるNHK問題の特集する予定です。ゲストに元NHKディレクターの永田浩三さんをお呼びしています。

3月には、12月に成立した「秘密保護法」の危険性を改めて考える番組を企画しています。米軍基地ではたらく軍作業員を取材し、「秘密保護法」にもかかわるその体験を本にした沖縄タイムス記者と元作業員をゲストに迎えてお話を聞きます。『基地で働く 軍作業員の戦後』（沖縄タイムス社出版）は、レイバーネットTV同様、「平和協同ジャーナリスト基金賞奨励賞」受賞作品です。

また今年も、特集と同時に、たたかう労働組合も数多く紹介していく予定です。ぜひレイバーネットTVを視聴・応援してください。(松元ちえ)

★新しい視聴サイト

<http://lntv.labornet.jp.org/>

★放送は第2第4水曜日・午後8時～9時15分(2月27日のみ木)

◇2月12日(水)

「派遣法改悪で正社員がいなくなる！」

「井上眼科病院争議」

◇2月27日(木)

「NHKが大本営放送になる日」

◇3月12日(水)

「沖縄基地問題～軍作業員が語る」

◇3月26日(水)

「TPPで農業がなくなる」

*タイトルは仮です。

★企画など持ち込み歓迎です。

民衆自身が声を上げる強さ

エイミー・グッドマン「独立系メディア」を語る

1月18日、東京・上智大学で「デモクラシー・ナウ！」放送局のエイミー・グッドマン(写真)を招いた国際シンポジウムが開催された。テーマは「グローバル化時代にデモクラシーを再生できるか？」だった。エイミーは1996年にラジオ局からスタートした自らの「メディア運動」を振り返りながら、こう断言した。「独立系メディアが民主主義に果たす役割は大きい。マスコミが報道しなくても民衆自身で声を上げることができるからだ。民衆が自分の体験・ストーリーを語ることで強くなることはない。このことで、差別・戦争などを徐々に壊していくことができる」。東チモール的大量虐殺事件を命がけで取材し、世界に報道した話はスリリングだった。それによって虐殺が止まったという。

またレイバーネットTVの松元ちえさんも登壇し、東京メトロ売店のストライキ報道事例を紹介した。「ほとんどのマスコミは無視したが私たちが伝えた。ストは小さな成果だったが、それを伝え共有することで、共感の輪と元気が広がった」。登壇者は、ほかにコリン・クラウチ(ウォリック大学名誉教授)、山口二郎(北海道大学教授)、木村正人(高千穂大学准教授/のじれん)の各氏で、メディア

と民主主義をめぐる熱い議論が続いた。シンポの様子は、IWJとレイバーネットTVが生中継した。

エイミー・グッドマンは改めて私たちに「独立メディア」「民衆メディア」の在り方・原点を教えてくれた。レイバーネットもウェブサイト・テレビなどのメディアを持っている。それをより研ぎ澄まし、力にしていこうとたくさんヒントをもらった。また今回を機会に、「デモクラシー・ナウ！」との交流・連携もすすみそうだ。(M)



新入会員紹介

指をくわえてはいられない 井口みどり

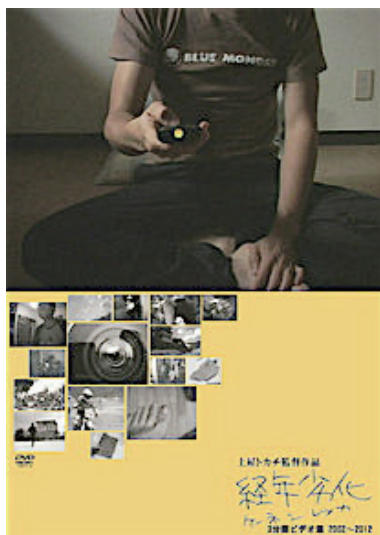
新入会した井口みどりです。今はなにもできませんが、現在のこの状況を指をくわえてみていることもできなくて、入会しました。進行性の難病患者ですが、どうやら元気に過ごせて、ありがたいです。「被爆者の声をうけつぐ映画祭」の幽霊メンバーをやっています。今年は7月3日(木)～6日(日)明治大学リバティーホールで開催予定。どうぞ、よろしくお祈りします。

世界初！3分間ビデオ集 DVD「経年劣化」発売

土屋トカチ

「3分間ビデオ」とは、文字通り3分間以内で作成する映像表現です。登記こそされていませんが、コンセプトを考えたのはレイバーネット日本共同代表の松原明さんです。「3分間ビデオ」は、レイバーネット日本が2002年から毎年末に開催しているレイバーフェスタや、ビデオアクトが過去8回主催してきたオムニバスビデオなどで沢山の人々によって作られてきました。本数は250本を超えます。

私も2002年より、毎年1～2作のペースでコツコツと作ってきました。この度、10年分の自作「3分間ビデオ」作品から選び抜き、1枚のアルバムにまとめ、DVDとして発売することにしました。名付けて「経年劣化」です。日本社会や僕の肉体は劣化したけど、心は劣化してないぞ！と、願いを込めました。



「3分間ビデオ」の作り手は増えましたが、アルバムにした人はまだいません。新しい映像ジャンルへ世界初の挑戦です。レイバーネット日本の皆さまのおかげです。感謝！詳細は、同封させていただいたチラシをご覧ください。よろしくお祈り致します。

2014年たたかいはつづく

ウェブサイトの写真から



旅行添乗員 HTS 支部が完全勝利！～「偽装みなし労働」
残業代請求裁判 最高裁で判決！



安倍さん嵐は止まないよ！～「秘密法」廃止求めて3千人が国会包囲



日本政府は差別・排除をやめよ！～風連・人権勧告の実現もとめて集会デモ



戦争につながる「君が代」強制～辻谷博子さん大阪地裁に提訴

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円
(B会員 = 5,000円 通常 + TVサポート)

現会員数 540名
ウェブアクセス 1日 5000

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
銀行口座 東京都民銀行 小竹向原出張所
普通 55002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578